

No.	事業名称	所属	補助・単独	通常分・事業者支援分	事業実施状況						効果検証		アンケート調査					
					事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(単位:千円、四捨五入)					伊勢原市・新型コロナウイルス感染症対策(4つの柱)	4.危機に強いまちをつくるの区分	事業効果	評価	実施の有無	主な意見		
						補助対象事業費	国庫補助額	交付対象経費	起債額	その他							補助対象外経費	
1	小規模事業者臨時給付金事業	商工観光課	単	事業者支援	① 売上減少が著しい小規模事業者の事業継続を支援する。 ② 小規模事業者に対する助成金及び事務費 ③ 令和3年1月～3月のいずれか1カ月の売上が前年または前々年同期比20%以上減少し、令和3年1月～3月の売上合計が前年または前々年の同月合計10万円以上あり、市内に神奈川県内の営業時間短縮要請(令和3年1月12日～令和3年3月31日)の対象外であった事業所を有している小規模事業者。	51,472	51,472	0	50,980	0	492	0	3.地域経済を立て直す(雇用の維持と事業の継続)	-	神奈川県が実施する飲食店等に対する感染防止協力金を受けられない事業者(時短要請の対象外)に対して、国の一時支援金より支給要件を緩和した市独自の臨時給付金10万円を支給することで、新型コロナウイルス感染症拡大による2度目の緊急事態宣言の影響を受けて売上が減少している市内の小規模事業者を支援した。 ・支給決定:508件	A.計画どおり	無	
2	キャッシュレス決済によるポイント還元事業	商工観光課	単	通常	① 市内事業者におけるキャッシュレス決済(QRコードを利用したスマートフォン決済)に対して、決済額の一部をポイント還元するキャンペーンを実施し、地域の消費活性化を図るとともにキャッシュレス決済の普及を促進する。 ② ポイント還元経費、事務費 ③ 事業者(市内中小企業・大手飲食店、コンビニ)消費者(市内在住問わず)	61,116	61,116	0	56,116	0	5,000	0	3.地域経済を立て直す(雇用の維持と事業の継続)	-	PayPay株式会社と連携し、専用アプリを利用した決済に対して決済額の最大25%を還元するキャンペーンを実施することで、非接触型のキャッシュレス決済推進による感染対策と、地域経済の活性化を促進した。 なお、還元額が予算上限に達したことから、キャンペーン期間終了日が当初予定していた6月30日から18日に短縮となった。 ・参加店舗:約600店舗 ・利用額:56,896,231円 (経済効果額約242,076,000円)	B.概ね計画どおり	有	【市民アンケート(回答者706人)】 ・68%が「普段より多く消費した」と回答 ・91%が「今後同様のキャンペーンを実施した場合、利用したいと思う」と回答 ・69%が「今回のキャンペーンは地域経済の活性化に効果があった」と回答 【事業者アンケート(41店舗回答)】 ・48%が「キャンペーンで売上げが伸びた」と回答 ・71%が「プレミアム商品券よりもキャッシュレスキャンペーンのほうを実施してほしい」と回答
3	トイレ自動ドア化による接触感染防止対策事業	福祉総務課	単	通常	① 公共施設の利用者が安心して来庁できるように、トイレの入口を自動ドア化し、接触防止による感染症対策を促進する。 ② 自動ドア工事請負費 ③ 施設利用者、市職員	9,087	9,087	0	9,087	0	0	0	1.命と健康を守る(感染拡大防止対策)	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、不特定多数が利用する伊勢原シティプラザについて、施設内トイレ入口ドアを非接触型自動ドアに変更したことで、利用者が直接ドアに触れることなくトイレへの出入りが可能となった。 ※1F～3F男女トイレ 6箇所設置した。	A.計画どおり	無	
4	スポーツ施設等トイレ手洗い自動水栓化事業	市民協働課 スポーツ課 消防総務課	単	通常	① スポーツ施設等の利用者が安心して使用できるように、トイレの手洗いを自動栓化し、接触防止による感染症対策を促進する。 ② 自動栓交換修繕費 ③ 施設利用者、市職員	5,259	5,259	0	5,259	0	0	0	1.命と健康を守る(感染拡大防止対策)	-	・不特定多数の来館者があるコミュニティセンターにおいて、自動水栓化等が実施されたことにより、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図ることができた。(3館14箇所) ・伊勢原球場利用者(平均2,100人/月)、市立武道館利用者(平均2,700人/月)について、手洗いを利用した際における感染リスクの低減につながった。 また、行政センター体育館はワクチン接種会場となっており、同会場でのワクチン接種者(7月29日時点で89,613人)及び従事者の感染リスクも低減した。 ・消防本部、本署、南分署、西分署のトイレ等の手洗いを自動水栓化し、接触防止による感染症対策を図ることができた。	A.計画どおり	無	
5	市体育館男子更衣室の換気窓設置事業	スポーツ課	単	通常	① スポーツ施設の利用者が安心して使用できるように、更衣室に換気窓を設置する。 ② 換気窓設置修繕費 ③ 施設利用者	692	692	0	692	0	0	0	1.命と健康を守る(感染拡大防止対策)	-	3密を避ける観点から開放できていなかった男子更衣室について、感染リスクを低減したうえで開放することができた。(参考:市体育館利用者数 平均3,100人/月)	A.計画どおり	無	

No.	事業名称	所属	補助・単独	通常分・事業者支援分	事業実施状況						効果検証			アンケート調査				
					事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（単位：千円、四捨五入）					伊勢原市・新型コロナウイルス感染症対策（4つの柱）	4.危機に強いまちをつくるの区分	事業効果	評価	実施の有無	主な意見		
						補助対象事業費	国庫補助額	交付対象経費	起債額	その他							補助対象外経費	
6	感染症予防対策のための備品等整備事業	健康づくり課 社会教育課	単	通常	① 感染症予防のための消毒等対策を必要時に講じられる準備を行う。 ② 感染症予防対策用の物品購入 ③ 市民	16,103	16,103	0	16,103	0	0	0	1.命と健康を守る（感染拡大防止対策）	-	・ 公共施設での感染予防に係る対策を行い、市民が安心して利用できる環境を整えた。 ・ 飛沫防止パーテーションを、市立7公民館の各窓口に設置することで、市民、サークル・団体利用者及び窓口従事者への新型コロナウイルス感染予防を図ることができた。	A.計画どおり	無	
7	バス・タクシー車両感染拡大防止支援事業	都市政策課	単	通常	① 地域公共交通における感染機会を低減するため、車内消毒等に要する費用を支援し、安全・安心な利用環境を整備する。 ② バス・タクシー交通事業者への補助金 ③ 路線バス交通事業者及びタクシー交通事業者 基本的対処方針(令和3年9月9日変更)P.73 4)社会機能の維持②公共交通の維持	5,640	5,640	0	5,640	0	0	0	1.命と健康を守る（感染拡大防止対策）	-	市内営業所のバス車両94台の車内消毒作業等を実施したことで、感染機会の低減とともに安全・安心な利用環境を整備することができた。	A.計画どおり	無	
8	救急搬送資機材の整備事業	消防総務課	単	通常	① 医療従事者や救急隊員への感染拡大を防止するため、救急搬送用資機材を整備する。 ② 感染拡大防止のためのシールド付き保安帽購入 ③ 感染(疑い含む)救急搬送する傷病者、救急隊員	493	493	0	493	0	0	0	1.命と健康を守る（感染拡大防止対策）	-	消防職員32名に貸与し、救急活動における感染防止対策を図ることができた。	A.計画どおり	無	
9	小中学校施設消毒作業業務委託事業	学校教育課	単	事業者支援	① 感染拡大防止のため、小中学校の感染リスクが高い場所を放課後等に消毒を実施し、感染リスクを軽減する。 ② 小中学校消毒委託費 ③ 市内小学校10校、中学校4校 基本的対処方針(令和3年9月9日変更)P.42 7)学校等の取扱い①「学校における新型コロナ初発する感染症に関する衛生管理マニュアル」P.33 消毒作業を実施する場合の業務委託	6,317	6,317	0	6,300	0	17	0	1.命と健康を守る（感染拡大防止対策）	-	感染拡大の防止と安心して利用できる環境を整備することができた。 ・ 小学校10校 中学校4校	A.計画どおり	無	
10	郵送型血液検査事業	健康づくり課	単	通常	① コロナ禍で健診の受診機会を控える方に対し、郵送やスマートフォンを活用して自宅での血液検査を可能にする。 ② 血液検査費用 ③ 39歳市民のうち健診未受診者	705	705	0	705	0	0	0	2.暮らしを支える（市民生活への支援）	-	医療機関での受診に不安がある市民(が、在宅で血液検査を行い、自らの健康を振り返る機会を設定できた。 ・ 利用者数 39歳：1224人中122人利用	A.計画どおり	無	
11	オンライン子育て講座事業	子育て支援課	単	通常	① コロナ禍で不安を抱えながら出産、子育てをしている母親等を対象にオンライン講座を実施し、参加者の感染リスクを軽減する。 ② 子育て講座のオンライン実施 ③ 講座参加者	155	155	0	155	0	0	0	4.危機に強いまちをつくる（新しい生活様式を踏まえた感染機会の削減）	新たな暮らしのスタイルの確立	・ オンライン子育てワークショップ：実施回数 2回 ①令和3年9月17日～令和3年11月17日の内3日間、参加者数 延べ12人 ②令和4年1月25日～令和4年3月8日の内3日間、参加者数 延べ27人 ・ オンラインおしゃべり会：実施回数 1回 令和3年10月27日～令和4年1月19日の内3日間、参加者数 延べ16人	A.計画どおり	有	・ 視野が広がった ・ 何をすれば良いかわかった ・ 自分を振り返ることができた ・ 「悩んでいるのは自分だけではない」と気づけた ・ 対面でも開催してほしい ・ 心が軽くなった。核家族で日中は子と二人きりのため誰かと会話がしたくてもできずにつらくなっていた。 ・ 子どもが産まれてこのように学ぶ機会はとても貴重でありがたい。とても参考になった。
12	修学旅行のキャンセル料等支援事業	学校教育課	単	通常	① 保護者のコロナ禍での経済的な負担軽減を図るため、修学旅行のキャンセル料等の経費を補助する。 ② 修学旅行のキャンセル料等 ③ 小中学校等の保護者	5,241	5,241	0	5,241	0	0	0	2.暮らしを支える（市民生活への支援）	-	修学旅行が中止となった中学校3校と遠足が中止となった小学校1校のキャンセル料を補助し、保護者の負担軽減を図った。	A.計画どおり	無	

No.	事業名称	所属	補助・単独	通常分・事業者支援分	事業実施状況						効果検証		アンケート調査					
					事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（単位：千円、四捨五入）					伊勢原市・新型コロナウイルス感染症対策（4つの柱）	4.危機に強いまちをつくるの区分	事業効果	評価	実施の有無	主な意見		
						補助対象事業費	国庫補助額	交付対象経費	起債額	その他							補助対象外経費	
13	オンラインイベント実施事業	人権・広聴相談課 青少年課 秘書課 子育て支援課	単	通常	① 人の密集を避けて、各種イベントを実施するため、オンライン配信等を実施し、参加者の感染リスクを軽減する。 ② 動画配信委託料 ③ イベント参加者	1,282	1,282	0	1,282	0	0	0	4.危機に強いまちをつくる（新しい生活様式を踏まえた感染機会の削減）	新たな暮らしのスタイルの確立	○人権啓発講演会：実施回数：1回、視聴回数：市民・492回、職員・237回 ○いせはら男女共同参画フォーラム：実施回数：1回、視聴回数：473回 ○伊勢原市制施行50周年記念式典のライブ配信 閲覧974回（11/20まで）、542回（当日） ○令和4年成人式について、来場不安を感じる対象者等に対し、オンライン配信を行った（午前の部、午後の部それぞれ実施）。また同時視聴が難しい対象者に対し、1か月間のアーカイブ配信を行った。 ・視聴者数 243人 （配信時間帯における最大同時接続数の2部の合計） ・再生回数 1,261回（配信後24時間での総再生回数） ○子育て応援フェスタ2021 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない子育て支援情報等の発信を目的として開催していた子育て応援フェスタ（約1,500人の親子が参加）を、LINE公式アカウントや市ホームページを活用した、3週間期間限定のオンラインイベントとして実施した。LINE友だち登録件数は584件、LINEメッセージ配信数5,163件、動画等の再生回数3,130件など、オンラインを活用した情報配信により大きな効果が得られた。	A.計画どおり	有	○人権啓発講演会 ・上手に見られるのかドキドキでしたが、初めてパソコンで動画を見ました。時間も飽きる事無く、クイズも有り楽しく視聴出来ました。今後も機会があれば視聴してみたいと思います。 ○いせはら男女共同参画フォーラム ・講師の説明がとてもわかりやすく身近で、有意義な講演だったと思います ○子育て応援フェスタ2021 ・新たな親子で楽しめる場所を知ることができた ・行政の情報や取組を知ることができた ・子育てに関する相談できる場所を知ることができた ・子どもの楽しむ姿が見られた ・地域の子育て情報・活動団体を知ることができた （複数選択で10%を超えるものを抜粋）
14	地域まちづくり応援事業	都市政策課	単	通常	① 市街地に隣接する森林や里山等において、地域環境整備（散策路等）を実施する地域まちづくり活動を支援し、感染機会の少ないコミュニケーションの場を形成する。 ② 地域まちづくり団体への補助金 ③ 地域まちづくり団体、来訪者	3,988	3,988	0	3,988	0	0	0	4.危機に強いまちをつくる（新しい生活様式を踏まえた感染機会の削減）	コロナに強い社会的な環境の整備	3団体から利用申請があり、市街地に隣接する森林や里山等における地域まちづくり活動が計11箇所で開催され、感染機会の少ないコミュニケーションの場を形成するとともに、良好な地域環境の創出や維持に寄与した。	A.計画どおり	無	
15	小中学校オンライン集会実施事業	教育指導課	単	通常	① 人が密集する小中学校における大人数での集会等を各教室でオンラインで行い、密集を解消する。 ② 各教室にある大型提示装置（テレビ）と校内ネットワーク接続機器の購入 ③ 児童・生徒、教職員	1,760	1,760	0	1,760	0	0	0	4.危機に強いまちをつくる（新しい生活様式を踏まえた感染機会の削減）	新たな暮らしのスタイルの確立	・全小中学校の教室に設置されている大型提示装置（テレビ）と校内ネットワークを接続する機器を整備した。 ・始業式や終業式等、全校集会をオンラインで実施することにより、感染リスクを軽減することができた。	A.計画どおり	無	
16	公共施設利用予約システム拡充事業	社会教育課	単	通常	① 感染予防のため、施設予約システムを導入し、紙での申請を簡略化・廃止し、人との接触機会を削減する。 ② 施設予約システム委託 ③ 学校施設利用者	209	209	0	209	0	0	0	4.危機に強いまちをつくる（新しい生活様式を踏まえた感染機会の削減）	新たな暮らしのスタイルの確立	石田小学校特別教室使用においては、従来の対面での施設予約手続きを改め、オンラインでの施設予約システムを導入することにより、窓口での感染拡大の防止と安心して利用できる環境を整備することができた。	A.計画どおり	無	
17	市立図書館電子図書館整備事業	図書館・子ども科学館	単	通常	① 「新しい生活様式」に対応し、来館することなく図書館資料を利用できるようにする。 ② 電子図書館サイト構築と電子書籍購入・レンタル ③ 図書館利用者（市内在住・在勤・在学）	6,163	6,163	0	6,163	0	0	0	4.危機に強いまちをつくる（新しい生活様式を踏まえた感染機会の削減）	新たな暮らしのスタイルの確立	令和3年10月1日にいせはら電子図書館を開設した。 令和4年3月末現在、閲覧可能コンテンツ数9,296点を整備、利用提供した。	A.計画どおり	無	
18	避難所の3密対策事業	危機管理課	単	通常	① 避難所での3密対策及び感染症の拡大防止対策のため、避難所対策用資機材等を整備する。 ② 避難所の資機材購入費等 ③ 市民	25,966	25,174	0	25,174	0	0	792	4.危機に強いまちをつくる（新しい生活様式を踏まえた感染機会の削減）	コロナに強い社会的な環境の整備	自然災害が頻発する中新型コロナウイルス感染症等に対応した新たな対応スタイルを模索するため、避難所における3密対応のための環境整備を目的に、感染症のための資機材等の整備、災害情報の共有、受伝達のためのシステムを整備し、危機管理の充実を図りました。	A.計画どおり	無	

No.	事業名称	所属	補助・単独	通常分・事業者支援分	事業実施状況						効果検証			アンケート調査			
					事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（単位：千円、四捨五入）					伊勢原市・新型コロナウイルス感染症対策（4つの柱）	4.危機に強いまちをつくるの区分	事業効果	評価	実施の有無	主な意見	
						補助対象事業費	国庫補助額	交付対象経費	起債額	その他							補助対象外経費
19	口座振替申請電子化事業	収納課	単	通常	① 感染予防のため、市税等口座振替申請を電子化することで、紙での申請を簡略化・削減し、人との接触機会を削減する。 ② システム導入委託・金融機関導入手数料等 ③ 納税者、保険料等支払者	17,951	17,951	0	17,951	0	0	0	4.危機に強いまちをつくる（新しい生活様式を踏まえた感染機会の削減）	コロナに強い社会的な環境の整備	A.計画どおり	無	
20	いせはらマイクロツーリズム推進事業	商工観光課	単	通常	① マイクロツーリズムの需要を喚起し、観光需要の早期回復のため、観光クーポン券を発行し、地域経済を活性化させる。 ② 観光クーポン券事業委託 ③ 県内観光客、市内観光地等の飲食店、土産物店等	23,826	23,826	0	19,520	0	4,306	0	3.地域経済を立て直す（雇用の維持と事業の継続）	-	C.計画どおり進捗せず	有	・お得なキャンペーンだった ・景観がよかった ・使用エリアが広がってよかった ・またやってほしい など
21	ふるさと納税による地域物産品魅力発信事業	財政課	単	通常	① 新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した市内事業者に対し、ふるさと納税返礼品として地域物産品のPRすることにより支援する。 ② ふるさと納税の広告経費 ③ 市内ふるさと納税返礼品提供事業者	330	330	0	279	0	51	0	3.地域経済を立て直す（雇用の維持と事業の継続）	-	B.概ね計画どおり	無	
22	証明発行手数料キャッシュレス化推進事業	戸籍住民課 市民税課	単	通常	① 窓口における現金授受をキャッシュレス化し、新しい生活様式を踏まえた環境整備を行い、感染機会を低減する。 ② POSレジ導入・ネットワーク経費等 ③ 窓口来庁者	5,383	5,383	0	5,186	0	197	0	4.危機に強いまちをつくる（新しい生活様式を踏まえた感染機会の削減）	コロナに強い社会的な環境の整備	A.計画どおり	無	
23	キャッシュレス決済ポイント還元事業（第2弾）	商工観光課	単	通常	① 市内事業者におけるキャッシュレス決済（QRコードを利用したスマートフォン決済）に対して、決済額の一部をポイント還元するキャンペーン（第2弾）を実施し、地域の消費活性化を図るとともにキャッシュレス決済の普及・定着を促進する。 ② ポイント還元経費、事務費 ③ 事業者（市内中小企業・大手チェーン含む飲食店） 消費者（市内在住問わず）	42,650	42,650	0	42,650	0	0	0	3.地域経済を立て直す（雇用の維持と事業の継続）	-	A.計画どおり	有	【市民アンケート（回答者977人）】 ・60%が「普段より多く消費した」と回答 ・84%が「今後同様のキャンペーンを実施した場合、利用したいと思う」と回答 ・61%が「今回のキャンペーンは地域経済の活性化に効果があった」と回答 【事業者アンケート（79店舗回答）】 ・63%が「キャンペーンで売上げが伸びた」と回答 ・82%が「キャンペーンでキャッシュレス決済の割合が向上した」と回答
24	新型コロナウイルス感染症救急搬送時の維持相談業務委託	消防総務課	単	通常	① 救急搬送時に受入病院等が決まらず自宅療養する患者に対し、患者の不安などを解消できるよう電話による相談を行う。 ② 医師会への委託経費 ③ 市民	6,600	6,600	0	6,600	0	0	0	1.命と健康を守る（感染拡大防止対策）	-	A.計画どおり	無	医師会と連携し、やむを得ず自宅療養となった患者の不安などを解消できるよう、24時間体制で電話相談が可能な体制を整備することができた。
25	空気呼吸器用面体の個人貸与に伴う消防活動安全装備品整備事業	消防総務課	単	通常	① 消防活動において直接肌に装着する安全装備品を個人貸与にし、消防職員間の感染を防止する。 ② 安全装備品購入経費 ③ 市消防職員	2,225	2,225	0	2,225	0	0	0	1.命と健康を守る（感染拡大防止対策）	-	A.計画どおり	無	CX面体58個、K2CS面体14個を整備し、消防活動における職員間の感染防止を図ることができた。
26	中学校給食食材費相当額補填事業	学校教育課	単	通常	① 感染拡大時に中学校給食を中止したことにより発生した食材費の保護者負担相当額を市で補填し、保護者負担を軽減する。 ② 食材費の補填経費 ③ 中学校生徒保護者	653	653	0	653	0	0	0	2.暮らしを支える（市民生活への支援）	-	A.計画どおり	無	保護者の負担軽減を図った。

No.	事業名称	所属	補助・単独	通常分・事業者支援分	事業実施状況						効果検証			アンケート調査			
					事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(単位:千円、四捨五入)					伊勢原市・新型コロナウイルス感染症対策(4つの柱)	4.危機に強いまちをつくるの区分	事業効果	評価	実施の有無	主な意見	
						補助対象事業費	国庫補助額	交付対象経費	起債額	その他							補助対象外経費
27	新型コロナウイルス感染症拡大時検査対応等支援事業	健康づくり課	単	通常	① 感染拡大時の診療所での感染対策のため、市医師会との連携により発熱外来・検査(抗原・PCR等)場を設置する。 ② 発熱外来・検査(抗原・PCR等)場の設置費補助(市医師会) ③ 市民、市医師会	20,000	20,000	0	20,000	0	0	0	1.命と健康を守る(感染拡大防止対策)	-	伊勢原市医師会との連携により、伊勢原市休日夜間急患診療所及び市内診療所で発熱外来を設置し、新型コロナウイルス感染症等の検査を実施したことで、罹患者を早期に発見し、療養につなげられたことから、感染拡大防止等の効果があった。	A.計画どおり	無
28	公用車抗ウイルス・抗菌コーティング事業	管財契約検査課 環境美化センター	補	通常	① 市所有の車両における感染機会を低減するため、車内抗ウイルス・抗菌コーティングを実施することにより、安全・安心な利用環境を整備する。 ② 抗ウイルス・抗菌コーティング経費 ③ 公用車利用者	201	201	0	201	0	0	0	1.命と健康を守る(感染拡大防止対策)	-	・市が所有する中型バス車両1台及び公用車3台の車内抗ウイルス・抗菌コーティングを実施することにより、利用する市職員及び市民に、感染機会の低減とともに安全・安心な利用環境を整備することができた。 ・清掃車両28台に抗ウイルス・抗菌コーティングを実施したことで、職員の感染リスクを低減し、安定した収集体制を維持することが出来た。	A.計画どおり	無
29	休日夜間急患診療所等運営継続支援事業	健康づくり課	単	通常	① 感染症に影響により受診控えて診療報酬収入が減少した休日夜間診療所及び休日夜間薬局に対し、継続した運営が行え、市民の休日夜間の受診機会を確保するため支援する。 ② 医師会、薬剤師会への補助金 ③ 市民、休日夜間診療所及び薬局	20,866	20,866	0	20,866	0	0	0	1.命と健康を守る(感染拡大防止対策)	-	伊勢原市医師会・伊勢原市薬剤師会との連携により、伊勢原市休日夜間急患診療所及び伊勢原市休日夜間薬局を運営している。コロナ禍において、感染症罹患の不安からの受診控えがおり、診療費の減収となった。しかし、本支援により、医師、看護師、薬剤師等のスタッフが確保でき、コロナ前と変わらない体制で、市民に安全で安心な医療を提供することが出来た。	A.計画どおり	無
30	「地域療養の神奈川モデル」自宅療養者対応薬局補助事業	健康づくり課	単	通常	① 県が実施している「地域療養の神奈川モデル」で対象とならない薬局対応経費を補助し、自宅療養患者の不安など解消できるよう平日夜間の調剤を可能とする。 ② 薬剤師会への補助金 ③ 市民、薬剤師会	1,140	1,140	0	1,140	0	0	0	1.命と健康を守る(感染拡大防止対策)	-	入院可能病床に限られる状況であった新型コロナウイルス感染症拡大時に、悪化リスクがありながら自宅療養される市民に対し、地域の看護師が電話による健康観察を行うほか、必要に応じて自宅訪問して対面により症状を確認、また、24時間電話相談窓口を運営し、療養を支援した。更に必要時にはオンライン診療を行い、入院が必要と判断した場合には入院調整を行うなどの、療養のサポートを行った。その県の事業以外で、薬剤師の薬の調剤や配送に対する支援を行うことが出来た。	A.計画どおり	無
31	子ども・子育て支援交付金	子ども育成課	補	通常	(新型コロナウイルス感染症対策支援事業) ① 乳児全戸訪問事業が実施する感染症対策に対し支援する。 ② 感染症対策に必要な経費 ③ 地方自治体	143	113	37	37	0	39	30	1.命と健康を守る(感染拡大防止対策)	-			
32	子ども・子育て支援交付金	子ども育成課	補	通常	(新型コロナウイルス感染症対策支援事業) ① 放課後児童健全育成事業が実施する感染症対策に対し支援する。 ② 感染症対策に必要な経費 ③ 放課後児童クラブ事業者、地方自治体	6,112	4,031	1,343	1,343	0	1,345	2,081	1.命と健康を守る(感染拡大防止対策)	-			
33	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	補	通常	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①各学校が段階的な学校再開に際して、感染症対策等を徹底しながら児童生徒の学習保障をするための新たな試みを実施するに当たり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の再開を支援する経費を補助する。 ②需用費消耗品費、備品購入費 ③市内小学校10校、中学校4校	21,993	2,431	1,215	1,215	0	1	19,562	1.命と健康を守る(感染拡大防止対策)	-			
34	文化芸術振興費補助金	商工観光課	補	通常	(霊峰大山大出会う日本の伝統・江戸の粋) ① 文化観光資源を体系的に創成・展開するとともに、国内外への戦略的広報を推進し、観光需要の喚起を図る。 ② 外国語対応薪能実施委託、重要文化財特別展覧会開催業務委託 ③ 観光客、観光事業者	13,734	13,660	7,432	6,215	0	13	74	3.地域経済を立て直す(雇用の維持と事業の継続)	-			

No.	事業名称	所属	補助・単独	通常分・事業者支援分	事業実施状況						効果検証			アンケート調査			
					事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（単位：千円、四捨五入）					伊勢原市・新型コロナウイルス感染症対策（4つの柱）	4.危機に強いまちをつくるの区分	事業効果	評価	実施の有無	主な意見	
						補助対象事業費	国庫補助額	交付対象経費	起債額	その他							補助対象外経費
35	疾病予防対策事業費等補助金	健康づくり課	補	通常	(予防接種法に基づく定期接種(ロタウイルスワクチン)に係るマイナンバー情報連携体制整備事業) ① ロタウイルスワクチンの定期接種化に伴い、マイナンバー情報連携をするためにシステム改修を実施する。 ② システム改修委託 ③ ワクチン接種者	1,036	190	126	64	0	0	846	4.危機に強いまちをつくる（新しい生活様式を踏まえた感染機会の削減）	コロナに強い社会的な環境の整備			
36	疾病予防対策事業費等補助金	健康づくり課	補	通常	(健(検)診結果等の様式の標準化整備事業) ① 健(検)診結果等を標準化された形でデジタル化する。 ② システム改修委託 ③ 健診受診者	1,573	1,116	558	387	0	171	457	4.危機に強いまちをつくる（新しい生活様式を踏まえた感染機会の削減）	コロナに強い社会的な環境の整備			
37	疾病予防対策事業費等補助金	健康づくり課	補	通常	(健(検)診情報連携システム整備事業) ① 健(検)診結果等をマイナポータル等で連携する仕組みを構築する。 ② システム改修委託 ③ 健診受診者	3,595	2,551	1,700	590	0	261	1,044	4.危機に強いまちをつくる（新しい生活様式を踏まえた感染機会の削減）	コロナに強い社会的な環境の整備			
38	保育対策総合支援事業費補助金	子ども育成課	補	通常	(保育環境改善等事業(新型コロナウイルス感染症対策支援事業)) ① 保育所等が実施する感染症対策に対し支援する。 ② 保育所等への補助金 ③ 保育所等事業者	8,352	8,352	4,175	4,175	0	2	0	1.命と健康を守る（感染拡大防止対策）	-			
39	保育対策総合支援事業費補助金	子ども育成課	補	通常	(保育所等におけるICT化推進等事業) ① 保育所等において、業務のICT化推進のため支援する。 ② 保育所等への補助金 ③ 保育所等事業者	1,419	1,419	946	354	0	119	0	4.危機に強いまちをつくる（新しい生活様式を踏まえた感染機会の削減）	コロナに強い社会的な環境の整備			

401,430 376,544 17,532 346,998 0 12,014 24,886